

マッチングアプリを使用したことのある70代に関する調査レポート

調査主体: THE SINGLE編集部

調査対象: マッチングアプリを使ったことのある70代

調査期間: 2026年3月2日～3月17日

調査方法: インターネット調査およびインタビュー調査

調査人数: 60名(男性32名・女性28名)

調査対象者 年齢: 70代

調査対象者 地域: 全国

※本調査は当サイト独自調査です。

Q1. マッチングアプリを利用する目的を教えてください。(複数選択可)

※複数選択のため、合計回答数は実回答者数(60名)を超えます。

割合は回答者60名に対する選択率です。

選択肢	回答数	割合
茶飲み友達・話し相手がほしい	31名	51.7%
趣味仲間・友人を増やしたい	26名	43.3%
恋人・パートナーを探したい	22名	36.7%

再婚相手を探したい	11名	18.3%
暇つぶし・気軽な交流がしたい	18名	30.0%
その他	4名	6.7%

70代のマッチングアプリ利用目的で最も多かったのは「茶飲み友達・話し相手がほしい」(51.7%)で、過半数が気軽なつながりを求めていることがわかりました。

次いで「趣味仲間・友人を増やしたい」(43.3%)が続き、恋愛・婚活よりも日常的な交流を目的とした利用が70代では主流であることが示されています。

一方、「恋人・パートナーを探したい」も36.7%と一定数おり、シニア世代の婚活ニーズも確実に存在しています。

Q2. マッチングアプリに求める条件として最も重視するものを1つ選んでください。(単一選択)

選択肢	回答数	割合
無料または低価格で使えること	21名	35.0%
操作が簡単で使いやすいこと	17名	28.3%
安全対策・運営が信頼できること	12名	20.0%
同世代・同年代が多いこと	7名	11.7%

真剣に婚活・恋活できること	3名	5.0%
合計	60名	100%

最も重視する条件として「無料または低価格で使えること」が35.0%でトップとなりました。

年金生活者が多い70代にとって、コストへの意識は特に高い傾向があります。

次いで「操作が簡単で使いやすいこと」(28.3%)が続き、スマートフォン操作に不慣れなシニア層にとっての使いやすさが重要視されていることが読み取れます。安全性を重視する声も20.0%あり、信頼性の担保も欠かせない要素といえます。

Q3. 現在利用している、または過去に利用したマッチングアプリを教えてください。(複数選択可)

※複数選択のため、合計回答数は実回答者数(60名)を超えます。割合は回答者60名に対する選択率です。

選択肢	回答数	割合
ペアーズ	29名	48.3%
ラス恋	22名	36.7%
ゴエنز	19名	31.7%
アンジュ	16名	26.7%
マリッシュ	13名	21.7%

ブライダルネット	10名	16.7%
ユーブライド	9名	15.0%
シンシアリユアーズ	7名	11.7%
その他	5名	8.3%

利用経験のあるアプリとして最も多く挙げられたのはペアーズ(48.3%)で、会員数の多さと知名度の高さが70代にも浸透していることがわかります。

40代以上に特化したラス恋(36.7%)や50代以上限定のゴエンズ(31.7%)も上位に入り、シニア世代向けのアプリが一定の支持を集めています。

複数のアプリを併用しているユーザーも多く、目的に応じて使い分ける傾向がみられました。

Q4. マッチングアプリを通じて実際に会ったことはありますか？(単一選択)

選択肢	回答数	割合
ある(友人・知人として続いている)	21名	35.0%
ある(その後は続かなかった)	16名	26.7%
ある(交際・結婚に発展した)	5名	8.3%

まだない(マッチングはした)	12名	20.0%
まだない(マッチングもしていない)	6名	10.0%
合計	60名	100%

実際に相手と会った経験がある方は合計42名(70.0%)にのぼり、70代においてもマッチングアプリを通じたリアルな出会いが着実に生まれていることが確認できました。なかでも「友人・知人として続いている」(35.0%)が最多で、恋愛以外の良好な関係を築いている方が多い点は70代ならではの傾向といえます。

「交際・結婚に発展した」は8.3%(5名)で、真剣な出会いを求めるシニア世代にとっても一定の成果が出ていることがわかります。

Q5. マッチングアプリを始めるにあたって、不安に感じた点はどれですか？(単一選択)

選択肢	回答数	割合
詐欺・悪質ユーザーが怖かった	20名	33.3%
操作方法がわからなかった	16名	26.7%
個人情報の漏洩が不安だった	11名	18.3%
周囲にバレることが恥ずかしかった	7名	11.7%

料金・課金トラブルが心配だった	5名	8.3%
特に不安はなかった	1名	1.7%
合計	60名	100%

利用前の不安として最も多かったのは「詐欺・悪質ユーザーが怖かった」(33.3%)で、安全性への懸念がシニア層において特に強いことがわかりました。

次いで「操作方法がわからなかった」(26.7%)が続き、デジタルに不慣れな70代ならではのハードルが浮き彫りになっています。「個人情報の漏洩が不安だった」(18.3%)も上位に入り、アプリ選びにおいて安全対策の透明性が重要な判断基準となっていることが示されました。

Q6. 同世代(70代)の方にマッチングアプリをすすめたいと思いますか？(単一選択)

選択肢	回答数	割合
ぜひすすめたい	16名	26.7%
どちらかといえばすすめたい	23名	38.3%
どちらともいえない	13名	21.7%
あまりすすめたくない	6名	10.0%
すすめたくない	2名	3.3%

合計	60名	100%
----	-----	------

「ぜひすすめたい」(26.7%)と「どちらかといえばすすめたい」(38.3%)を合わせると65.0%が推薦意向を示しており、70代の利用者の3人に2人がマッチングアプリをポジティブに評価していることがわかりました。「どちらともいえない」(21.7%)を加えると約87%が否定的でなく、シニア世代への普及余地は十分にあるといえます。

不安や操作面での課題が解消されれば、推薦率はさらに高まると考えられます。